

はばたき園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	作業の際は3つに分けて作業スペースを広くとっています。
	②	職員の配置数は適切であるか	利用者に応じて支援者の人数を変更しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	玄関先に手すりを設置し立ち上がり時に安全を考慮しました。活動室は老化との段差をなくしました。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	振り返りを行い、日誌に記入しています。重要事項には色を変えたりマーカーを引きます。当日不在の職員には後日読んでもらい、職員全員への周知を徹底していきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者様の意向を把握して活動内容の参考にさせていただきました。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	お便りには記載していませんが、ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	毎回行い改善策等を話し合い、その結果に基づき業務改善を行っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	マカトン研修や自立についての講演等、職員の要望に応じて機会を確保しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	子どもと個別に面談を行います。申し送りやモニタリング等で保護者のニーズを把握し、計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	写真カード、タブレット、マカトン、手話を使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	活動班、畑班、歌班、カード作り班と分れてチームで話し合い、全体で行います。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	月に1回のミーティング時に翌月のプログラムを各班で話し合い、固定化しないようプログラムを考えています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	月毎、長期休みの予定をカレンダーにして配布しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	作業の工程に合わせて個別課題や集団活動を子どもの状況に応じて設定しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	ホワイトボードに決まったことや伝えることなど記入し確認してもらっています。また、支援前に前回の記録や日報を読むようにしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	毎日振り返りを行い、気づいた点を話し合いどう対応していくかを考え日報に記録しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	支援記録は毎日付けています。振り返りで様子を話し、その場で改善につなげられるようにしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	年間予定を立て、毎月のミーティングで計画に沿って実行できるように話し合っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	ガイドラインを見てもらい、支援に役立てていきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	行なっています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在は該当者がいないため行っていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	高校生デイサービスなので該当していません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	あかりグループでは情報交換をしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	臨床心理士の講演を聞きます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	以前バスケ部との交流会を行い、今年は昌平高校と交流会を行います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	参加の検討をしております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	昨年利用者様のお母様に対して助言をさせていただきました。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に説明を必ず行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	お迎えの際や電話での相談などの際に行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	親子企画などで交流の場を用意しています。今後は就労施設見学などを行い昼食時に父母同士で関わりを持てる時間を作っていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	何かあればデイサービスの責任者等に來てもらい直接対応を行っています。また、電話での対応も行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	園だよりにて活動の予定や様子をお伝えしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	ファイルの持ち出しを禁止する等、個人情報に十分に注意しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	本人が同席している場合は良いことを伝えていきます。個別にお伝えする内容がある場合などは静養室等を活用しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	ホットハートフェスティバルのチラシのポスティング等を行っていく予定です。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	室内に掲示し、避難時の書類を事務所に備えています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	消防訓練を夏・冬に行っています。避難・地震などの訓練は2か月に1回計画しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	ミーティングで話し合いをしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	バギー等を使用した場合、身体拘束の記録を記入しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	利用者登録カードに記入してもらっています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	作成しています。また、口頭で伝え事業所内で共有しています。